

春日の地名研究(1)

春日市塚原台の塚原はどうして名づけられたのでしょうか？

大野城市の西鉄ストアー牛頸店(土地の一部は塚原台)から南へ300m程離れたところ、団地内の緑地公園に茶色のしゃれた赤石のモニュメントが建立されています、これには次のように書かれています
“県道長浜～太宰府線を通すため、また市街化のため田畑を出し合い地盤を2mほどかさ上げし今の状態をつくった。”又慣れ親しんだ小字名が失われるのを惜しんでの事と思いますが、
“・・・この土地には縄文時代晩期、紀元前4世紀頃とみられる遺跡群があり、ずいぶん昔から人が住んでいたところを物語っている、当時から水と平地と日当たりの良さの3条件が揃った豊かな所だ。しかし昭和44年この地が大字牛頸(おおあざうしくび)になり、小字名の倉石(くろいし)、花無尾(けなしお)、塚原(つかはら)が消えてしまった。・・・”

と刻字されています。大野城市教育委員会のホームページの地図を見ると牛頸川沿いに小字(こあざ)塚原の名前があります。塚原は塚原台とは少し離れていますが、塚原遺跡があり、塚原古墳群(12基)がここ塚原台3丁目まで続いています。

このため、丘陵地帯の住宅団地造成に際し名称を塚原台に決めたものと考えます。

塚原台は下白水であり、その昔牛頸村の一部でありました。この土地の風習として旧筑紫郡(御笠・席田・那珂郡の3郡)では、女性が16歳になると「十六参り」と言って宝満山の上宮(じょうぐう)にお参りして、良縁を願う風習があったそうです。今はどうでしょうか。

(1丁目蒲生)

【編集後記】

久しぶり(2月19日以来)に10キロのマラソン大会に参加しました。

風邪をひいて10日以上走っていなかったのも、不安でした。普段の練習をきちんとしないと結果が出ませんね。現役(仕事)を引退して1年過ぎましたが、まだまだ生活のリズムがつかめていません。気持ちの張りが無くなった分、体調管理が難しい。救いは血圧が下がった事です。薬を飲んでも思うように下がらなかったのですが、ストレスがなくなったからでしょうか？

無理言って書いて頂いた「春日の地名研究」はどうでしたか？塚原台ルーツ(古い言葉!)を知ることができて嬉しいです。

廃品回収の実績にはビックリです。

私の飼い主はの答え：環境部長の1丁目高木さんでした。